

おまかせしました



かいのき児童クラブ便り



あ～おもしろかった。また冬休み！！



R3年度 夏号 9月

今季は、例年の夏休みより短く、雨も多くバタバタした感のあった夏でした。しかし、終わってみれば子どもたちは、自分たちのやりたいことを計画的により効率的にした夏だったように思います。(実際には、私たち大人は、上手いかなかった時にどう声をかけ、どんな力が付けばいいのか？まで考えました。)その考えを良い方に裏切られ『やっぱり子どもの力は、すごいなあ～！！』と感心させられることがいっぱいでした。またかいのきクラブでは、ほとんどの行事を子ども発信、子ども運営で行っています。

初めての低・高 休憩タイムの別室保育

コロナ禍と言うこともあり、少しでも密を避けるため大学側から図書館の一室を貸していただけました。これまでは、高学年が勉強するために別室で…のようなお話が何度かありましたが、それはずっとお断りしてきました。又、今回も縦割りで動くべきか、学年で動くべきか随分悩みました。結局、昼食後～おやつまでの休憩時間を高学年だけ図書館へ移動することにしました。(実際には、クーラーの故障などで二日しか利用できませんでしたが)とてもいい時間を過ごせました。詳しくご紹介致します↓↓

ドラマで見たことのあるような会議室です。革張りの黒い椅子・整えられた机・マイクまで設置されています。その部屋を自由に使っていいと言って下さいました。子ども達は、大はしゃぎ。まずは、会議ごっこ・椅子に腰を掛け肘を机に置きマイクに向かいます。その後、絨毯の床に寝転んで人生ゲームをしたり、漫画を読んだり…いつものかいのきでしていることなのだけれどもこの日は、気分が違うようです。

次に椅子をくっつけました。それはゴージャスなベッドになりました。目を閉じて寝ようとするのですが、興奮していて汗もかいています。約二時間ほどでしたが、笑顔の絶えない最高の時間になりました。…(福)

一方かいのきクラブハウスで過ごした低学年。いつもは、休憩の合図は、高学年の日直ですが、低学年が張り切って声掛けをし自分たちで時間を観ながらいつもどおりの生活をすすめていきました。分かることで、はしゃぎ子どもらしい姿を見せた高学年。いつもより大人な姿を見せた低学年。たまにはこんな時間もいいなと思えました。子どもとの守秘義務もありますので多くを語れませんが、楽しいことをしました。(笑)



この夏休みの主な遊び(行事)

- ① かいのきオリンピック 2021(男女に分かれて色々対抗戦を行い代々続いている運動会みたいなもの。)

朝行くと万国旗がかいのきの中に飾ってありました。今まで代々続いてきたかいのきオリンピックですが、万国旗は、

初めてです。夏休み始まって1週間目の7月30日。高学年に『こんな早くするん？大丈夫なん？』たずねると『後半には、夏祭りするから早めがいいじゃろ。』それぞれ高学年になったら、当たり前のようにかいのきオリンピックをして、夏祭りやお楽しみ会をしよう！できる！と張り切っている気持ちがよく伝わりました。家でも準備の内職をしてきている子がいました。



② 身の回りの植物で草木染 → ミョウバン結晶作り

雨が続いた今季。雑談から草木染の話になり、高学年女子がはじめました。自分たちで色々調べ、材料も持ち寄りました。最初に実験して『草木染したい人！』と募集し、人数を決め何度かに分け草木染教室を開きました。媒染液の種類で色がかわること。ミョウバンが冷めてしまうと結晶が出て効き目がなくなる事。(6年生は、あったかくないと解けないことも知っていてニヤニヤ) 興味から実験のような遊びをしました。結果玉ねぎ・ミント・赤シソ・かりん、いろいろと試しとっても楽しい草木染ができました。この遊びが今後の学びとつながりますように。



③ 木登り ハンモック

木登り名人のすごい技を目にすると、やってみたくくなります。新人さんに名人が手とり足とり教えています。登りやすいように枝とロープで梯子も作られています。そうやって登れるようになった仲間が増え、気が付けば木には、子どもたちがお互いのスペースを確保しながら、群がっています。木の上は、見晴らしもよく気持ちいいので夢中で本を読んでいる子もいます。下から時々声をかけます。『そろそろ降りたら？気を付けて！』…実は、とっもうらやましいです。あんな風に登れたらいいなあ。自分たちで「雨上がりは、滑るから今日はやめておこう。」なんて判断も名人がしていました。リスク管理能力もばっちりでした。



④ 黒土発掘作業 → 巨大穴掘り → トンネル

かいのきの外の盛り土に大きな穴があります。それは、春休みから掘られました。イッタイナンノタメ？……落とし穴にして誰かを罠にかけよう！何かお宝が眠っているかもしれない。もっともっと掘り下げたいのに…人手がたりない…リーダーが従業員を募集し始めました。役割を決めて作業を進めます。粘土が出現！！早速セメント代わりに利用し小さなダムが完成しました。固めた後には、穴を掘りトンネルも開通しました。盛り土の頂上に上るための階段もいつの間にか作られていました。いろいろな人の手が増えられ盛り土は、日々形を変えていきます。その変化がとっても楽しみです。



⑤ 野球 (OB が来てくれるとその日を境に野球が広がる。)

OBの中学生(中2と中3)がコロナ禍、気を使いながら遊びに来てくれました。さすが1年生からしっかり遊んだかいのきっ子です。途中入所の多い高学年と一緒に低学年も誘い野球をしてくれました。遊んでもらった子は、誘うこともできるのですが、自分たちで遊び慣れている子は、小さい子を入れるとイライラも増えます。でも入れないとそこで遊びは、途切れてしまいます。悩ましい問題です。その日を境に高学年が低学年を誘い野球が大勢でできるようになりました。お手本を見せてもらうことも大切です。

⑥ 夏祭り（お化け屋敷・屋台）

夏祭りと呼んで、お化け屋敷と屋台（射的・ジュース・金魚すくい・わなげなど）

自分たちでアミーゴや三宅玩具に電話してほしいものがあるのか。値段を聞いたり、何がどのくらい必要か考えたりしました。コロナ禍でなければ買い物までさせたいと思いました。大人側から見ていたらこれで大丈夫？お化け屋敷どうするの？準備は？と心配するほどでした。お化け屋敷は、真っ暗なクラブハウス内を目隠して歩く暗夜行路形式の物でした。途中濡れ雑巾をおいたり、霧吹きで水をかけたり、大きな音を鳴らしたり、耳元でハサミの音を聞かせたり工夫を凝らしていました。目隠しをしているのに恐怖メッセージが書いてあったりと、ちょっと笑える場面もあり素敵なお化け屋敷でした。始めは、怖がらせていることが楽しかった高学年も途中で飽きて疲れてきます。さぼり始める子も出てきます。そんな時には、しっかり声を掛け合っていました。また最後には『どうだった？どこなおもしろい？』なんて意見を聞いて改良しながら進めている姿もよかったです。屋台では、それぞれ担当が工夫を凝らし低学年が楽しめるように作っていました。全員プレゼントの紙鉄砲は、みんなにとっても喜ばれていました。自分たちよりみんながどうしたら喜んでくれるか？楽しんでくれるか？を考えていた高学年に、その日の連絡帳にみんなが『今日のお祭りが楽しかった！』って書いてあったことを伝えると、とってもいい顔をしていました。



⑦ カプラ・人生ゲーム・大富豪・かまぼこ板落とし・カプラ・将棋・スピード

人生ゲームを2組寄付していただきました。（ありがとうございます。箱を補強し大切に使っています。）

人生ゲームで大盛り上がりしました。合言葉は『人生しようやあ〜！！』ゲームするのは・・・の子も銀行屋さんで参加していました。アナログゲームは、人がいてできるものなのでいいなあ〜と思いました。

カプラも超大作からビー玉ころころまでいろいろなパターンで作っていました。大勢で作るナイアガラの滝ではもめ事も勃発しながらやりとげたり、低学年も一緒に集中して作っていました。

トランプや将棋での勝ち負けが決まる遊びでは、勝ちにこだわる子は、そこで続かなくなってしまう子もいました。勝つだけでなく勝ったり、負けたりするから遊びは、面白い事や折り合いをつけること遊びからいろいろなことを学んでほしいなと思いました。またそうしていけるよう支援していきたいです。



⑧ 番外編

子ども達が、カナヘビを捕まえました。次の日8月3日、卵を4つ産みました。ネットで調べ卵を育てました。1個は途中でしわしわになり、ダメになりました。そしてかいのき夏休み保育終了。カナヘビの卵は、高橋の勤務校（備前市西鶴山小

学校3年生)へ託しました。9月3日、1個の卵からカナヘビの赤ちゃんが無事誕生しました。その週末、9月4日に残りの2個の卵も無事に孵りました。今大切に育てています。

朝の会、帰りの会後の姿から

朝の会后・・・高学年のお姉さんが朝の勉強時間・遊びの時間・お昼休憩の時間・無理なくいい距離感で1年生をサポートしてくれている姿を見ました。(サト)

帰りの会、その後・・・日直の最後の仕事！みんなが外で遊んだ道具の最終チェック。片づけ忘れも多くチェックも大変。日直になって初めて気づく今までみんなしてきてくれたんだなあ～と。そしてみんなに『外の道具ちゃんと片づけてえ～。』と声掛け。小さな気づきと成長♡ 昼間は、みんなで遊んで夏祭りの準備ができなかった日。お迎えを待つ時間に一人コツコツとチケットを作る高学年男子。今自分ができること、できる時にする姿とつてもかっこよかったよ。

お迎えが来てくれた時の子ども達の嬉しそうな顔を見ると今日も一日無事に過ごせてよかったなあ～と何度も思いました。楽しいだけでなく思い通りにならないことや我慢することやちょっぴりケンカしてしまった日もお迎えの時の子ども達の笑顔を見るとホッとします。一緒に過ごしてそれぞれの子ども達の成長をたくさん見ることが出来ました。(井)

本来なら9月11日の保育報告会でたくさんの写真を見ていただきながら、子どもたちの様子をお話したかったのですが、それは叶いませんでした。これだけの夏の様子を保護者の皆様にお伝えしたくこんな見にくいお便りになりましたことをお許し下さい。私たち支援員も子ども達から学ぶことが多かったです。その子へどうすれば伝わるか？伝えるためには、エネルギーを注ぎ子どもの気持ちに立ち、考えなければならないこと。子どもと真剣に向き合う事、今後もスタッフ全員で共有していきたいです。良い素敵な夏でした。(高)

